

# 令和3年度 第1回教育課程編成委員会

## 報告書

日時：令和3年8月9日（月） 10:30～13:00

場所：長野理容美容専門学校校長室

## 令和3年度 第1回教育課程編成委員会 報告書

日時：令和3年8月9日（月） 10:30～13:00

場所：長野理容美容専門学校校長室

出席者：SORA 伊藤先生 スタジオエーワン 小出先生

松林校長・柏原教務主任・中澤主任

### 1、校長挨拶

先日無事地鎮祭を行うことができました。予定より少し遅れてきているようですが、新校舎に向けて進んできています。今回の委員会はこちらの仮校舎までお越しいただきありがとうございます。この仮校舎で、なおかつコロナ禍である状況の中、どうしたら生徒へ十分な教育を行い、満足して評価を頂けるかを常に考え行動してきております。自己評価委員会や学校関係者評価委員会でのご意見や提案も踏まえ、今回も忌憚ないご意見を頂きますようお願い申し上げます。

### 2、自己評価委員会、学校関係者評価委員会報告

基準：1 教育理念、目的、育成人材像

教育環境のさらなる充実を図るため、新校舎を建築中。仮校舎で限られた施設の中でも、十分な教育を実施する。校舎でのシャンプー実習ができないため、実務実習という形でサロンの協力のもと、シャンプー実習を行う。協力してくださるサロン多数。

伊藤先生：

あれができない、これができないでなく、実務実習という形で、サロンとシャンプーレッスンが連携する良い機会になったと思う。生徒にとっても回数があるため、さまざまなお店に行けるので、良い刺激になると思う。

小出先生：

水場がないからプロに教えてもらうという新しい発想。どちらも違った環境で緊張感を持つことができよと思う。

基準：2 学校運営

第8次5か年計画により、危機管理体制が整い、本学園独自の危機管理マニュアルを作成。オクレンジャーも活用しつつ、感染対策を行い十分な教育活動を行う。

小出先生：

インスタは高校生を持つ親もよくみている。これからはSNSをうまく活用して、在校生満足と生徒募集に繋げていく必要がある。

伊藤先生：

インスタは去年に比べて頻繁にアップされるようになってきた。頑張っ努力されていることがうかがえる。

### 基準：3 教育活動

幅広い教養や人間力、社会人基礎力の養成。即戦力になる人材育成に重点を置く。感染予防を行いながら、可能な限りイベントも実施していく。

伊藤先生：

ナガコレも昨年中止にしてしまったが、今年度は無観客でユーチューブに配信した。何もしないということは楽ではあるが、繋げていくことができなくなってしまう。どんな形であれ継続することが大事。ナガコレは長野校の生徒も例年通り参加することができた。コンテストやイベントは感染対策を十分に行いつつなるべく参加することでよい刺激になる。

小出先生：

NHKへアメイク体験など、良い機会が得られてよかった。幅広い教養、人間力、社会人基礎力は本当に大事である、良好な人間関係が築ければ、仕事が多少きつなくても、お客様のため常に笑顔で対応できる。サロンの厳しさ等、先輩の話を聞く機会などはあるとよい。

学校：

コロナ禍であるため、本校へ卒業生に来校してもらうようなそういった機会を作ることが難しくなっている。実務実習などがそういう機会になると思う。コミュニケーション力が弱い生徒が年々増えているのが現状。やりたいことはやりたいが、やりたくないことはやりたくないもはっきりしている。

伊藤先生：

今の人の嫌なものは嫌という感覚はわかる。授業料を払って教えてもらっているというスタンスと、お給料を頂いて働いているんだという違いがあるとは思うが。

### 基準：4 学修成果

国家試験だけでなく、資格取得率を向上させる。在校生の満足度を上げ、退学率を低下させる。

小出先生：

コロナ禍であるため、生活面が心配であるが、学校としてなかなか踏み込めない部分もあると思う。個々に沿った指導を引き続きして頂きたい。検定試験の中のサービス接遇検定は、合格率も高く頑張っていると思うが、美容師、エステシャンにとって大事な検定だと思う。接客の知識があり、接客ができるということが大事である。国家試験で学科を落としてしまった生徒がいたのは残念だが、

今回合格できるように頑張っていたきたい。国家試験はお客様にとって大きな信頼である。

伊藤先生：

家庭環境はサロンもそうだが入ってからわかるものである。学校がどこまで踏み込んでいいのかわからないこともある。メンタル面でも大学では専門の方が入っている。精神論だけではやっていけない。だんだんそういう時代になっている。

基準：5 学生支援

文科省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進。感染症に係わる登校に関しても、学びの場を止めないよう、県の指導に従って実施。は感染対策を行いつつ、個々に合わせた就職活動を支援。卒業生の早い段階での離職があり、就職先の情報をしっかりととらえ、「思っていたのと違う」とならないように、選択していく必要がある。また、在学中にどのような指導をしていけばよいか今後の課題である。

伊藤先生：

オンライン面接は難しい。一般職でも「思っていたのと違う」と感じ、離職してしまうようだ。どんな人とどんな働き方をするのか、実際に行ってみてみないとわからないことはたくさんある。サロン側も、今までのような育て方、雇い方をしていると人材が定着していかなくなってしまう可能性もあると思う。

小出先生：

濃厚接触者などの状況でも、学びを止めない課題の準備や声掛けをしているとの事、生徒は感謝していると思う。NHKのヘアメイク体験もより実践的であり、コロナ禍であっても、このような体験ができることはありがたい。

基準：6 教育環境

ビル内であるため、清掃などの教育が難しいが、周りへの配慮や感謝の気持ちを培っていききたい。

小出先生：

会社の皆さんも、活気ある若い人たちに囲まれ、一年後新校舎に移ったときに、このビルの方たちがさみしがっていただけるような存在になっているといい。生徒側も人間ウォッチングできるいい機会なので、見る視点を変え良い機会ととらえてもらえるといい。

伊藤先生：

実習時のシャンプー練習については、お店によって9:00～16:00という

営業時間に1人スタッフをつけてシャンプーレッスンは厳しいところもあると思う。朝練などができるような時間帯を組んでいただくと、サロン側も対応できる所が増えると思う。

#### 基準：7 学生募集と受入れ

今年度入学者はコロナの影響もあり、地元志向で昨年より大幅に増えた。新校舎ではシャンプー練習もしっかり取り組めるよう完備している。カリキュラムをさらに魅力的にし、学生募集に繋げていきたい。HP、SNSの情報発信が今後の課題である。

伊藤先生：

学生が増えたことは先生方の日頃の努力の賜物である。デジタル化が進んでいるため、苦手だと言っていられずやっていかなければいけないことである。インスタのフォロワーが多い人は誰に向けて発信しているのかははっきりしている。ファッション性が高く、感度の良い生徒の意見を摂り入れ公式的なもので伝えていく必要がある。

学校：

美容学生はトレンドでフォロワー数が多い、インフルエンサーとして知られてきている。写真の撮り方、伝え方など参考にしていきたい。

伊藤：フットワークが軽いこと、写真の撮り方がうまいこと、個性をしっかり売り込めることが大事。

小出先生：

職員が思っていることをどんどんと伝えて、良い方向へ向いていくといい。平成13年の美容所数が21万件、美容師数が2万7千人であったが、令和2年、美容所27万件と増えているのに対し、美容師数は1万8千人と少なくなってしまった。美容師教育センター、組合で就職情報システムを確立して、就職状況の向上を図っている。学園としてもインスタやSNSを上手に利用し、HPもリニューアルして、新校舎のPRを発信して欲しい。

#### 基準：9 法令などの遵守

「学びの保証」へのガイドラインに沿って、県との連絡を行い、学びの場を止めないよう本校のガイドラインを作成。感染症などにより登校できない生徒への、個々の対応を行っている。

小出先生：

よく取り組んでいる。先生方の思いや目標を生徒としっかり共有し、おなじ目標に向かっていくといい。

伊藤先生：

この校舎でコロナ禍でという大事な1年である。

基準：10 社会貢献

学校施設の利用や本校の技術教育を提供するべく、中学生職場体験、福祉施設訪問、NHKヘアメイク体験などを行う。廃品回収や、エコキャップ回収など行っている。ごみ拾いなども呼び掛けているが、あまり希望者は出ていない。

小出先生：

ヘアカラーのアルミ容器を集めて送ると車いすの一部になるプロジェクトがある。ごみ拾いなども地域貢献につながるので、参加していくべき。

伊藤先生：

ここでもやりたいことやりたくないことの好き嫌いがはっきりしている。社会貢献は人間力を高めるために必要な事。機会があれば促して欲しい。

重点目標について

学期はじめに両学年とも、今年度の目標を提示した。ビル内で他業種の社会人の方と触れ合うため、挨拶や気遣いなど例年より出来てきていると思われる。1学期終業日に両学年ともに満足度アンケートを実施した。綺麗なオフィスビルであるため、綺麗に使用する配慮。社会人の皆さんのお仕事の邪魔にならないような配慮。限られた空間だからこそ、クラス内にとどまることなく広がったコミュニティなどがうかがえる。半面、不満や不信なども訴えている生徒もいるため、早めの対応が必要だと思われる。

伊藤先生：

アンケートから1年生より2年生と成長している様子がうかがえる。これが2年間の大きさだと思う。よくやっていただいていると思う。

小出先生：

こういったアンケートはすごく大事。この後の対応も大事だと思う。この環境を工夫して今しかできないこと、今だからできることをやっていただき、うまく溶け込んでいると思う。

3、カリキュラムについて

選択授業の組み直しと、シャンプーを含めたパーマ、髪質改善の実習時間の確保を行いたい。着付け・カットの選択60時間も、そろそろ組みなおしが必要なのではないか。着付けの技術理論は例年着付けを選択していない生徒にとって不得意分野になる。また、カットを選択している生徒に比べ、着付け選択の生徒は60時間分の後れを取っているため、国家試験カットの際も難しくなってしまう

う。

伊藤先生：

ネイルは人気があるのか？カット授業も充実しているので、カラーの力をつけてきてもらいたい。サロンに入ってワンメイクができると、即戦力になる。カットよりカラーへの興味がある人が多いと思う。ハイブリーチもどこまでするとどうなるのか、色や痛み方なども多少わかっていてくれると、サロンでの働き方も違ってくると思う。ネイルは専攻科などに持っていくとか、メイクはブライダルやアップセットなどに組み込むとか、メイクを特化させなくてもいいのではないかな。

SNS への発信が大事になってきているのでフォト授業はいいと思うが、芸術の中ではなく、美容技術の中に入れてメイクなどと組んでもいいと思う。

小出先生：

シャンプーはサロンでは必須。気持ち良いシャンプーとカラー技術は早めに入客できるといいと思う。

#### 4、生徒の様子

1, 2年ともに人間関係の構築が難しくなっている。それぞれが求めているものが違う中、個々を認め合うまでに時間がかかる。イベントを通して今の行動をどのようにしたらよいのか、どんな人物になっていきたいのかを考え学んでほしい。イベント系では、さまざまな生徒の意見をくみ取りながら、学校全体が一丸となる取組を行っている。2, 3学期も引き続き、生徒が主体となり、周囲への配慮や影響を見通し自ら考え実行できる人材育成につなげていきたい。

#### 5、業界から

伊藤先生：

生徒への悩み、実情よくわかる。生徒が不便を感じない様、サロンと協力体制でやっていきたい。美容業界もコロナの影響なく、美容室は安心安全だとお客様に浸透してきている。同様に国家資格取得者であるということ、お客様の信頼につながるためその部分でも学生募集の際に強くアピールしてほしい。

小出先生：

コロナ禍であり、仮校舎であるということで、何ができないではなく、どうすればできるかで対応して頂いていると思う。引き続き工夫して前向きに取り組んでほしい。組合も9月にOMCをオンラインで行う。全国美容選手権はパシフィコ横浜にて令和4年3月に行われる。来年6月に組合の大会も行われる。学生部門のWDコンテストには是非多数参加してほしい。

校長より

学生満足のため、職員と生徒で盛り上げていきたい。理事長もビューコレに関して、勇気を持ってやらなければいけないと言っている。何事にも、できないではなく、前向きに工夫しながら取り組んでいきたい。本日はありがとうございました。

令和3年8月13日

教育課程編成委員  
小出誠司様

長野理容美容専門学校  
校長 松林真紀

### 教育課程編成委員会報告書

昨日はお忙しい中、貴重なご意見を頂きありがとうございました。  
教育課程編成委員会の報告書を同封いたしました。ご査収の程宜しくお願い致します。また、生徒満足度アンケートと、進路決定アンケートを同封しております。併せましてご確認お願いいたします。

令和3年8月13日

教育課程編成委員  
伊藤秀一様

長野理容美容専門学校  
校長 松林真紀

### 教育課程編成委員会報告書

昨日はお忙しい中、貴重なご意見を頂きありがとうございました。  
教育課程編成委員会の報告書を同封いたしました。ご査収の程宜しくお願い致します。また、生徒満足度アンケートと、進路決定アンケートを同封しております。併せましてご確認お願いいたします。